

## 第4回働くトラックファミリーフェスタを開催

来場者2,000名

岡山県トラック協会



9月23日（月・祝）午前10時より岡山県トラック協会自動車運転練習場（岡山市東区中尾）で『働くトラックファミリーフェスタ』を開催しました。

「トラックの日」関連事業の一つとして、小学生や家族の皆さんに、くらしと経済を支えるトラックについて、楽しみながら学び一層の親しみをもっていただくとともに、交通安全や環境保全等の取り組みについて知っていただくため3年前から開催していますが、年々来場者が増加、今年は2,000人が訪れました。

会場には、キャリアカーやバルクトレーラー、ラフテレーンクレーン、冷蔵冷凍車、高圧バキューム車、パトカーや白バイ、高所作業車など24台を展示し、来場者に運転席に座ってもらい実際の大きさや高さを体験してもらいました。

また、今年からGマーク（安全性優良事業所認定制度）の地域社会への更なる認知度アップを計るため、Gマークラッピングトラックも展示しました。

展示トラックの写生会には小学生以下82名が参加し、真剣な表情で画用紙にトラックを描いていました。



「冷蔵冷凍車早く見たいよー」



「寒くて凍っちゃうよー」



「ウワー高いなー遠くがよく見えるよ」



「大きくなったら白バイに乗るぞ」



「ミニ電車出発進行」



「高く上がったよ」



「運転したいよー」



「ダンプカーは力持ち」



「おかあさんぼくトラックの絵うまいでしょう」



「クレーンで何でも吊り上げちゃうぞー」



「キャリアカーは長いなー」



B級グルメコーナー

当日は晴天で気温も30度を超え会場内では、青年協議会会員が販売するジュース、かき氷が大人気でした。また、昼時にはB級グルメコーナー（日生カキオコ、やきそば等）には行列ができるほどでした。

来場者からは「運ぶ荷物によってこんなに多くの種類のトラックがあることに驚いた。普段あまり見ることのできない車両もあり大変勉強になった。来場者が多いので来年からはもっと広い場所で開催して欲しい。」との声がありました。